

「自然体験が豊富な子どもほど、自律性や協調性等が身につけている傾向がある」
これは、全国の小学4・5・6年、中学2年、高校2年の約1万8千人に、自然体験や行動習慣などの実態について聞き、分析した調査報告書の内容です。(国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査」平成31年2月発行)

ちなみに、みなさんは、「自然体験」と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか？
私は、小学6年生だったある夏の日のことを思い出します。

それは、県立青少年の家で、初めて野外炊事を体験した時のことです。班ごとに食事を作るわけですが、私達の班は、薪に火をつけることができずに途方に暮れていました。

すると、突然、隣の班の男の子がやってきて、火をつけようとするではありませんか。
彼は、普段教室では全く目立たない子でしたので、私達は思わず、「T君には、無理だって！」
と言ってしまいました。

ところが、彼は、黙って薪をいじりはじめ、あっという間に火をつけてくれました。
さらに、熱くて誰も近づけなかった竈の前にしゃがみ、火力の調整までしてくれました。
私達は、今まで全く見たことがなかったT君の姿に驚嘆し、「すごいね！」「どうしてあんなに簡単にできるの？」「びっくり！」と、口々に言ったことを覚えています。

後日T君は、恥ずかしそうに次のような話をしてくれました。
自分の家には、薪ストーブがあり、普段手伝いをしているから、特別すごいことなんかじゃないのだと言うことを…。

さて、子どもたちが楽しみにしていた夏休みに突入しました。
夜空の星や木の手触り、蝉の鳴く声、海のおい等、リアルな感覚にあふれた自然を存分に楽しめる夏休みです。
自然に親しむことは心の成長に好ましいということが分かっていることから、長い休みの間に、ゲームやスマホざんまいでは、もったいないですよね(>_<)



ちなみに、報告書によると、他にも「海や川で泳いだ」「夜空いっぱい輝く星をゆっくり見た」などの体験が多い子ほど、「自分でできることは自分でする」、「相手の立場になって考える」といった行動が多い傾向がみられるとのこと。

まだ休みの計画が立っていない方や、行き先が決まっていない方はぜひ、自然体験を意識しながら、夏休みを過ごすことをオススメします(*^_^*)【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」

> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索